



かけ声は、「わっせー、わっせーいりやまべ!!」



# 松本ぼんぼんへ参加しました! 世代間交流事業

回結式で全員集合!



入山辺 通



同じデザインのTシャツとうちわで出たよ!



入山辺 通



平成 28 年 9 月 1 日 現在

世帯数	886 戸
男	1,003 人
女	1,069 人
総人口	2,072 人

今年から初めての試みで、時間も無いなか、練習から大勢の方々に参加してもらい、踊りに励むことができました。親子だけでなく、J A 女性部の皆さんなど、大人も参加してくれたことで、幅広い世代が丸となったって踊る雰囲気がつくれたのではないかと思います。(民謡サークル代表 大澤 芳子さん)

## 参加者からの感想

8月6日(土)に開催された市内の一大夏祭り松本ぼんぼんに、入山辺地区で参加をしました。子ども21名、大人39名の計60名が参加しました。初めて踊る参加者もいましたが、民謡サークルの皆さんから全9回の練習を受け、無事、当日を迎えることができました。本番は入山辺通全員で気持ちを一つに、楽しく踊ることができました。

## 世代間交流事業 松本ぼんぼんへの参加

今年度、入山辺地区の子どもから大人まで、幅広い世代が交流を図れることを目的に、「世代間交流事業」松本ぼんぼんへの参加」と「世代間交流講座」全3回を実施しています。

第2回は、9月3日(土)に陶芸体験を実施し、11名が参加しました。南方町会の赤羽義徳先生を講師に招き、思いにお皿をデザインしました。完成したお皿は地区文化祭で展示しますので、お楽しみ。



第1回は、8月20日(土)に上高地ウォーキングを行い、24名の参加がありました。2名のガイドで2班に分かれ、上高地の植物や目の前の山々などについて話を聞くことができました。歩きながら、子どもをはじめ異年齢の方々とも交流することができました。

## 世代間交流講座

初めて松本ぼんぼんを踊ったけれど、練習をしながらこれならいけるかなと思いましたが、本番はたくさん人がいて緊張したけれど、だんだん慣れて楽しく踊れました。来年もあればまた参加したいです。(小4 新井 康希くん)

集まってくれた子どもは40人以上。8チームに分かれてトーナメント戦を行いました。子どもたちにとって初めての競技でしたが、すぐにルールを理解してもらえ、たくさん汗をかきながら思いきり楽しんでいました。(こんな山辺にするじゃん会 会員 朝倉 久美さん)

## 第29回親子ひろば

7月23日(土)、晴天のなか親子ひろばが開催されました。毎年恒例の流しそうめんや魚のつかみどり、長いのり巻き作りなどが行われ、たくさん親子で賑わっていました。そして、今年初めて行われたイベントが「新聞玉合戦」。こんな山辺にするじゃん会より考案された新競技で、名前のとおり新聞を丸めて作った玉で行う雪合戦のような競技です。チーム対抗で行い、相手チーム全員に新聞玉をあててアウトにするか、相手チームの旗を取ったら勝ちです。

第3回は、11月12日(土)に料理教室を行います。クリスマスに向けて、ミートローフやミネストローネ等を作ります。子どもが楽しめる企画も用意していますので、是非ご参加ください。

交通対策の進捗状況

アルピコ交通の入山辺線が廃止されることを受け、6月23日(木)に「入山辺交通対策協議会(会長柳澤町会連合会長)」を立ち上げ、代替の地域主導型公共交通について検討を進めております。地区住民の皆さんの意向を確認するためのアンケート調査を7月中旬から8月上旬にかけて実施しました。641世帯に配布し、542世帯から回答をいただきました。

アンケート結果

- ★現在、自家用車等で家族を送迎してくれる人がいますか
・いる：384 (73%) ・いない：143 (27%)
★入山辺線に替わるバスや乗合いタクシー等が必要ですか
・必要：441 (82%) ・必要ない：96 (18%)
★利用者や地域で負担しても公共交通を維持していくべきですか
・維持する：395 (79%)・維持しない：107 (21%)
★新たな公共交通を世帯で利用する人はいますか
・利用する：235 (61%)・利用しない：152 (39%)
★運行経費の確保の方法として、最も近いお考えは
・利用しやすい運賃設定と、差額は地区全体で：286 (60%)
・運賃が高くても利用者が負担：101 (21%)
・費用負担があるなら公共交通は不要：64 (14%)
・会費で費用をまかない、利用時の運賃は無料：23 (5%)
★代替交通の運行方法はどのようにすべきか
<定時定路線の場合>
・現在の路線バスのバス停だけを運行：248 (57%)
・集落の決めた場所を運行：182 (41%)
・その他：9 (2%)
<デマンド(事前予約制の場合)>
・予約のある集落の決めた場所を運行する：212 (52%)
・予約のある路線バスのバス停だけ運行：180 (44%)
・その他：17 (4%)
★1回の運賃がいくらなら利用しますか
・現在の路線バスの運賃なら：277 (63%)
・集落までなら多少高くても：131 (29%)
・その他：34 (8%)
★その他
・公共交通を必要としている人は高齢者が多く、通院、買物に必要と回答しています
・通勤通学に必要という人は多くないが、利用日数は多いです
※設問ごとに無回答者があるので、総数は一致しません

アンケートの結果、入山辺線に替わる交通手段が必要と回答した世帯が441(82%)、利用者や地域で負担しながらも、公共交通を維持していくべきと回答した世帯が395(79%)ありました。アンケート結果を参考に検討している運行計画(案)は、【朝夕の通勤通学の時間帯】入山辺線のルートで運行【昼間の通院買物の時間帯】集落別コースを曜日別に運行するというものです。松本市の地域主導型公共交通

通事業補助金では、補助金上限額850万円を活用できませんが、収支率10%以上が条件です。例としてバス運行経費が総額944万円の場合、市からの補助金850万円を活用するためには、94万円以上の収入が必要です。この94万円以上を、運賃、町会費、広告費等で確保する必要があります。現在は、上記運行計画(案)に基づき、収支計画、運行ルート、運行時刻、運賃、運行事業者選定等について、協議し

くまの公民館も

アルピコ交通は当初9月末の廃止を予定していましたが、代替交通が検討中であることから、「9月末にこだわらず柔軟に対応していきたい」としています。利用する方の目線に立ち、より多くの方に利用していただける公共交通として存続していけるよう、引き続き慎重な検討を進めていきますので、皆さんのご意見をお寄せください。

第89回入山辺地区大運動会のお知らせ
期日 10月16日(日)
開会式 午前8時
場所 入山辺運動広場
(午前6時15分に林業センター、6時35分に入山辺運動広場で実施)
施合図の花火を打ち上げます

第40回入山辺地区文化祭

作品出展者の募集

10月30日(日)入山辺公民館で開催します。展示作品を出品していただける方を大募集しています。お申し込みは、入山辺公民館(32・1389)まで。

親子ひろば



山辺小5年 宮坂 浩康

7月23日(土)に入山辺公民館とJA入山辺支所で親子ひろばが行われました。最初に新聞玉合戦があり、新聞玉を相手に多く当てたり、相手陣地にあるはたをとったりすると勝つゲームです。ぼくは、8チームの中の第2

チームでした。第2チームは、かなり消極的なチームです。1回戦は、6年生がたくさん当ててくれたので勝てました。2回戦は、相手がとても強くて負けてしまいました。しかし、3位決定戦で勝てたので、みごと3位になりました。3位になったので景品をもらいました。景品は、キャップでした。嬉しかったです。その後、わたあめや流しそうめんを食べなくなるまで食べました。スイカわりでスイカをもらったので、本当に最高の一日でした。楽しかったです。今から来年の親子ひろばが楽しみです。

